

このノートの使い方

いえ ひと さい がい お
家の人と災害が起こったときのことを話し合おう
はな あ

はじめに

平成 23 年に発生した東日本大震災では、大地震や大津波におそわれて、たくさんの人がなくなりました。その一方で、防災教育を受けていた子どもたちはすばやくにげて、自分の命を守ることができました。
地震や風水害などの自然災害から自分の命を守る方法を知っておくことは、いざというときにあわてることなく、避難することができるので、とても大切なことです。

この「まつど防災ノート」は、災害が起こったときに、みんなが助かることができるよう、自分で考え書きこむようになっています。家族といっしょに使ってください。

もくじ

このノートの使い方	1
このノートのページ案内	2
災害用伝言ダイヤル、災害用伝言板サービスの使い方	3
教室にいるときに大地震が起こったら	4
教室の外にいるときに大地震が起こったら	6
登下校中などに大地震が起こったら	8
津波が来る！ どうしたらいいの？	11
家にいるときに大地震が起こったら	12
大雨の日、どんなきけんがあるの？	16
家で火事が起こったらどうする？	18
松戸市の避難所を確認してみよう！	20
松戸市避難所一覧	24
避難地図をかいてみよう！	25
身のまわりで起こりそうな災害は何だろう？	26
総合防災訓練って何？	27
避難所生活って何？	28
災害に備えて準備しておこう！	29
わが家の防災メモ／災害時の約束	
裏表紙	

かんぐ
考えよう！ では

災害が起こったときにどんなきけんがあるのか、どんな備えが必要なのかを考えて書いてみましょう。

とう ば こう ちょう
登下校中などに大地震が起こったら

考えよう！

登下校中や外にいるとき、大地震が起こったらどんなきけんがあるでしょうか。外でも「落ちてくるもの」「動いてくるもの」「たおれてくるもの」があります。それぞのきけんにあてはまるものを考えてみましょう。



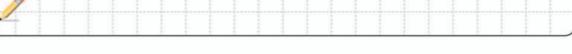
落ちてくるもの



動いてくるもの



たおれてくるもの



話し合おう！

大人の目線で
子どもに向けてアドバイス
をお願いします

おぼ
覚えよう！ では

災害が起こったときにとるべき行動や方法など、覚えておくと、いざというときに役に立つ内容が書いてあります。

こう どう
行動しよう！ では

災害が起こったときにどのように避難すれば身の安全を確保することができるのか、身のきけんから学びましょう。

いくつわかったかな？



落ちてくるもの

- かわら ガラス 信号機
- かんばん 切れた電線
- クーラー 横木ばかりなど

動いてくるもの

- かんばん 自動車
- 自転車 バイクなど

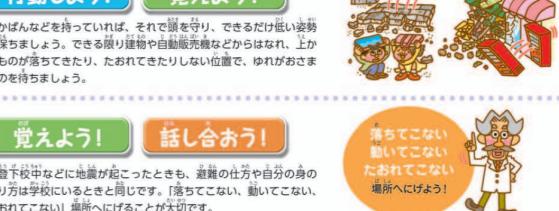
たおれてくるもの

- 電柱 自動販売機 ブロック
- 案内板 家 お店 自転車
- バイクなど

行動しよう！

かばんなどを持っていれば、それが手たり、できるだけ低い姿勢を保ちましょう。できる限り建物や自動販売機などからはね、上からものが落ちてきたり、たおれてきてない位置で、ゆがめがおさまるの待ちましょう。

覚えよう！ 話し合おう！



覚えよう！ 話し合おう！

緊急地震速報って何ですか。聞こえたらどうするの？
強い地震がある前にテレビやラジオ、防災行政無線で知らせる情報のことです。速報が出てから大きくゆれるまでの間は数秒から数十秒しかないのに、強いゆれが来ると聞いたときは、せんではないところでの身の安全を守りましょう。

落ちてこない
動いてこない
たおれてこない
場所へにげよう！



はな
話し合おう！ では

災害が起こったときに自分の命を守ることにつながることを、家族と話し合いましょう。